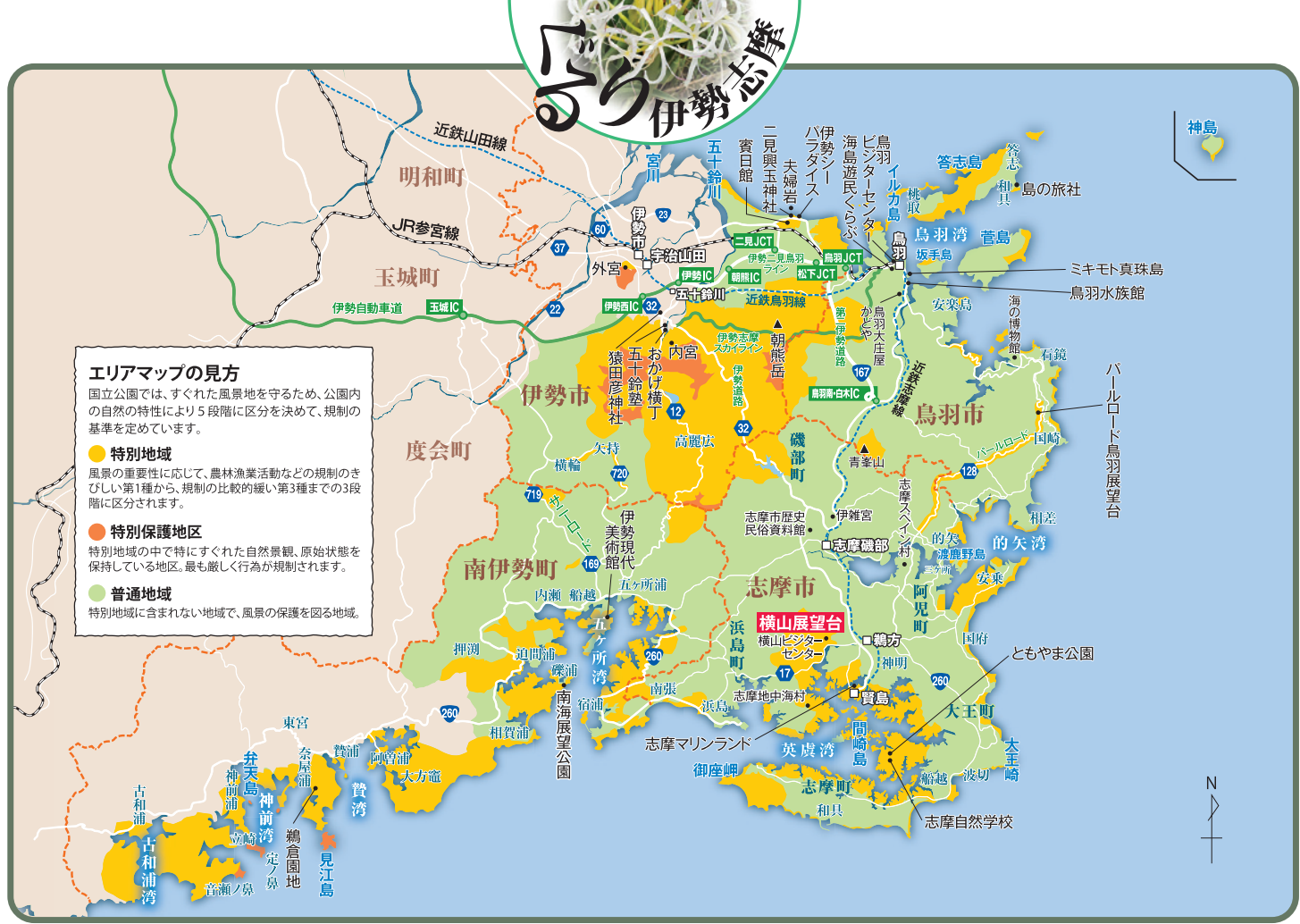




エコツーリズム 推進協議会が発足

伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会（会長・江崎貴久海島遊民くらぶ代表）の設立総会が、2月27日に開かれました。5月25日現在、観光や農林水産に関わる事業者、関係市町、国や三重県など61の会員が参加し、「持続可能な観光地域づくり」などを盛り込んだ基本理念に沿って設置した4つの部会が活動しています。

基本計画となる全体構想を策定し、長期的にはエコツーリズムを地域産業として育成するための雇用創出や観光に



2月に開かれた設立総会

適した基盤の整備、地域貢献のための教育などを進める方針です。

エコツーリズムは、地域の自然や文化を理解し、楽しんでもらうことがこれらの保護にもつながるという旅行のあり方で、全国各地に広まっています。

志摩市の横山展望台に 3つのテラスが完成

カフェしながら英虞湾のパノラマを英虞湾を望む志摩市の横山展望台のリニューアル工事が3月末に一部終了し、木造の新しいテラスが話題を呼んでいます。

もとの横山展望台があった場所に150平方メートルの「天空カフェテラス」のテラス部分が完成。これに近接してカウンター席と木かげが特徴の「木漏れ日テラス」と、ひときわ高い標高約170メートルに組まれた「そよ風テラス」もできました。

全体の工期は7月末まで。横山ビクターセンターから展望台にアクセスする



- ①そよ風テラス(パノラマ展望台)ではパークボランティアによる英虞湾のガイドも
- ②カウンターでくつろげる「木漏れ日テラス」
- ③カフェができる予定の休憩所

遊歩道や車道も改修中。天空カフェテラスの後方には2階建ての休憩所を整備中で、テイクアウト形式のカフェが8月にオープンする予定です。

お問い合わせは同センター TEL0599-44-0567

お問い合わせ	(一財) 伊勢志摩国立公園協会 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目2383-22 TEL & FAX: 0599-25-2358 http://www.ise-shima.or.jp/	三重県農林水産部みどり共生課 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 TEL: 059-224-2627 FAX: 059-224-2070 伊勢志摩国立公園インスタグラム Nationalpark_Ise-shima https://www.instagram.com/nationalpark_ise-shima/

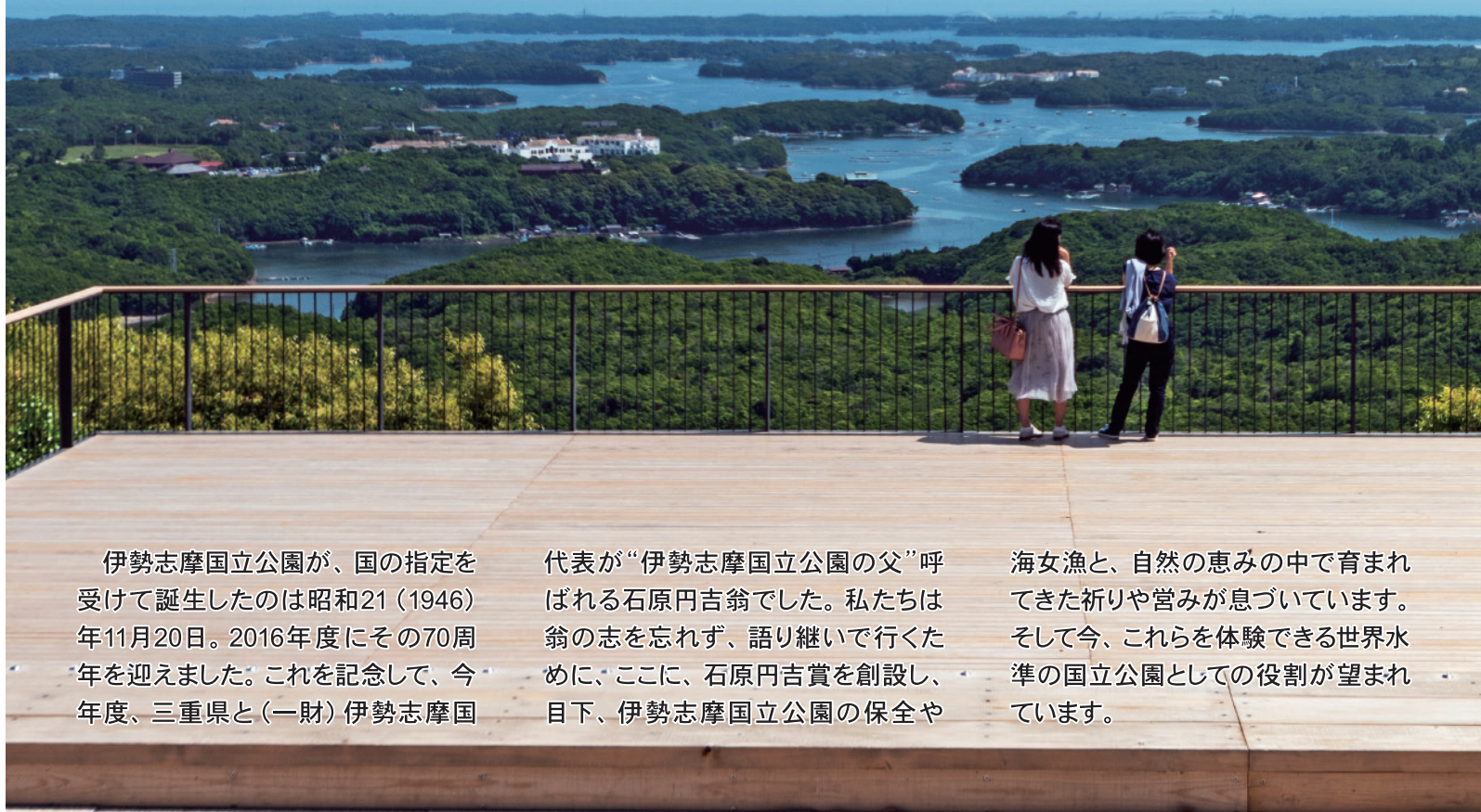
世界水準のナショナルパークを目指す 伊勢志摩国立公園 夏の便り

Happy
Birthday
制定号

発行●(一財)伊勢志摩国立公園協会
協力●三重県・環境省志摩自然保護官事務所
編集協力●(有)伊勢文化舎
発行日●平成30年7月1日

『伊勢志摩国立公園の日』を 新たに制定！

初代の伊勢志摩国立公園協会長を顕彰し
石原円吉賞を創設。7月から一般公募！



伊勢志摩国立公園が、国の指定を受けて誕生したのは昭和21（1946）年11月20日。2016年度にその70周年を迎えました。これを記念して、今年度、三重県と（一財）伊勢志摩国

代表が“伊勢志摩国立公園の父”呼ばれる石原円吉翁でした。私たちは翁の志を忘れず、語り継いで行くために、ここに、石原円吉賞を創設し、目下、伊勢志摩国立公園の保全や

海女漁と、自然の恵みの中で育まれてきた祈りや営みが息づいています。そして今、これらを体験できる世界水準の国立公園としての役割が望まれています。

立公園協会が中心となって11月20日を“伊勢志摩国立公園の日”と定め、毎年、お祝いしていくことにしました。

終戦直後の荒廃から美しい自然を守り、未来に託した先人たち——その

活用に従事し、功績が認められる方々に光を当て、この記念日に表彰します。

この地を見渡すと、森に囲まれた伊勢神宮、英虞湾の真珠養殖、沿岸の

今こそ原点に立ち、自然と生きることの大切さを思う機会が必要ではないでしょうか。地元の方々をはじめ多くの皆さまからご理解を賜りますようお願いいたします。



石原円吉翁

伊勢志摩発展の礎を築いた 情熱と行動力の人 石原円吉翁

"伊勢志摩国立公園の父"と呼ばれる石原円吉翁。
彼がいなければ、きっと、
今日のように豊かな森と海はなかったでしょう。
その足跡と、地元への思いは―。

漁村から水産界へ、 政界へ

「やっと、報われたな」。彼は心の中でそうつぶやいたかもしれません。終戦の翌年、昭和21年11月20日、厚生省から伊勢志摩国立公園指定の告示がありました。石原円吉翁たちが待ちに待った知らせでした。

円吉は、明治10年に英虞郡和具村（現在の志摩市志摩町和具）に網元の長男として生まれました。先代の父とともに、漁業だけでなくヨード製造や缶詰工場など幅広い事業を手掛けました。父の死後、三重漁業協同組合連合会会長、三重県水産会会長、全国漁連理事等要職を担います。他方では教育に力を入れ、漁協職員の養成を目的とした全国漁業協同組合学校の設立に情熱をそそぎました。さらに、これに平行して政界にも進出し、三重県議会議員や衆議院議員を務めます。

日本に国立公園の法制ができて間もない昭和12年、県議会は国に宛てて北牟婁、度会、志摩の三郡を、すでにあった吉野熊野国立公園へ編入するよう求める意見書を提出しました。提出者の代表は当時、県議会議長だった石原円

吉。のちに単独の“志摩国立公園”を目指し、真珠王御木本幸吉や地元の町村会とともに期成同盟を立ち上げて運動を起こしますが、戦況の悪化でやむなく休止となりました。

そして、終戦。戦後の復興はすべてGHQ(連合国軍総司令部)の占領下で行われました。国立公園の指定もGHQの許可がないと出来ませんでした。終戦直後、人々の生活は困窮し、伊勢神宮までもが国の保護を失い、広大な宮域林は盗伐などで荒らされました。これを守るため国立公園の指定が急務となり、志摩と伊勢を一体にした「伊勢志摩国立公園」の実現を目指して円吉は再び奔走します。このとき、視察に来たGHQの担当官たちを魅了したのが、神宮の神域と英虞湾の絶景、そして、養殖真珠でした。水産業の発展に尽くしてきた円吉は格別の思いだったでしょう。

それからまもなく、長年の円吉らの運動が実を結び、同21年11月20日、伊勢志摩は戦後初の国立公園に指定されました。

豊かな海と自然を 未来に託す

指定の翌年、円吉は伊勢志摩国立公園協会初代会長に就任しました。観光開発を後押しするかたわらで、私財を投じて伊勢志摩を日本一の公園にしたい、と各地に桜の苗木を贈ります。その数は1万本近くを数え、今もその遺志を受け継ぐ人々の手で新たな“円吉ざくら”が植樹されています。

また、円吉は政界を引退したあとも



昭和天皇（左）と円吉翁。（海の博物館提供）

全国の漁協の副会長や県の漁協の会長として、稚魚や稚貝の資源保護に一層の力を注ぎました。昭和30年に日本水産資源協会を設立し、全国運動を展開しましたが、そのアピールに仕掛けたのが、放魚祭でした。皇太子夫妻の臨席もあって盛大となり、現在は「全国豊かな海づくり大会」に引き継がれています。

さらに晩年となる同46年、鳥羽市の市街地に“海の博物館”を私設しました。のちに郊外へ移転し現在は公営となりましたが、円吉翁の遺志は受け継がれ、海に生きる人々の歴史や文化、環境について発信する拠点となっています。

石原円吉 (1877-1973)

いしはらえんきち

明治10年英虞郡和具村（現在の志摩市志摩町和具）生まれ。網元として遠洋漁業に取り組む一方、缶詰工場やマンガン鉱採掘など幅広い事業を全国各地で展開。大正12年に県議会議員に初当選し5期連続当選。全国漁業組合学校長、県漁業協同組合連合会会長なども務めて水産業振興に尽くした。昭和21年に衆議院議員に初当選し3期連続当選。戦前から志摩の国立公園指定運動のリーダーとして奔走。指定後の同22年に伊勢志摩国立公園協会の初代会長に就任し、亡くなるまで務める。他に全国国立公園理事などを歴任。在任中、公園内の小中学校、漁協、農協に桜の苗木を約1万本を私費で送る。同46年海の博物館（鳥羽市）を開館し、初代館長に就く。同48年に95歳で死去。

石原円吉賞 募集要項

1 趣旨

伊勢志摩国立公園は1946年（昭和21年）11月20日、13番目の国立公園として誕生しました。民有地の割合が96%と高く、美しい景観とともに、人と自然の関わりを感じることができる地域です。

この度、伊勢志摩国立公園指定70周年（2016年）を記念して、地域の方々にこの国立公園に親しみを持っていただき、より魅力ある地域にしたいという思いから、指定された日を「伊勢志摩国立公園の日」とし、表彰をはじめ関連した各種行事を開催します。

2 募集する石原円吉賞

初代の伊勢志摩国立公園協会の会長である石原円吉翁は、戦前から国立公園の指定に向け、尽力しました。伊勢志摩国立公園協会では、この石原円吉翁を顕彰するとともに遺志を受け継いでいくために現在、国立公園の保全や活用に従事している方に「石原円吉賞」を贈り表彰します。

3 受賞候補者の推薦

候補者の推薦は、公募により行います。

表彰の対象者は、長年、伊勢志摩国立公園の地域文化の継承や適正な活用の推進、動植物の保護などを行っている方やグループ・団体です。（若干名）

4 募集期間と応募の方法

鳥羽ビジターセンター、横山ビジターセンター、三重県みどり共生推進課、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の観光担当課に応募用紙があります。また、伊勢志摩国立公園協会、三重県みどり共生推進課のHPでも推薦の応募ができます。

推薦書の提出は上記の場所、またはメールでも受け付けています。
メールアドレス ise-shima@ise-shima.or.jp / midori@pref.mie.jp
締め切りは9月30日（日）

5 選考結果及び発表時期

表彰者の発表：平成30年10月末予定

表彰式：平成30年11月17日（海の博物館）

6 選考方法

候補者の審査選考は、伊勢志摩国立公園協会が設置する選考委員会にて行います。
選考委員：有識者 櫻井治男(皇學館大学大学院特別教授)、塚本明(三重大学文学部教授)、伊勢志摩国立公園協会会長、三重県みどり共生推進課長、志摩自然保護官事務所国立公園保護管理企画官、伊勢志摩観光コンベンション機構事務局長

7 問い合わせ

事務局(伊勢志摩国立公園協会 TEL/FAX:0599-25-2358)までお願いします。

予告 HappyBirthday！伊勢志摩国立公園



伊勢志摩国立公園の指定日を皆さまとお祝いし、盛り上げたいという思いから、三重県では昨年度から「HappyBirthday!伊勢志摩国立公園」を開催しています。第2回となる今年は、11月17日（土）に鳥羽市立海の博物館で、「石原円吉賞」表彰式と同館や伊勢志摩国立公園ならではのイベントを行う予定です。

海の博物館では、日本建築学会賞や公共建築百選にも選ばれた建物や、国指定重要有形文化財を含む展示もお楽しみください。

伊勢志摩国立公園 の歩み

昭和21年11月～平成30年8月

昭和

21年 11月 戦後初、13番目の国立公園に指定
22年 8月 伊勢志摩国立公園協会設立
23年 7月 近鉄・大阪―宇治山田間特急運転開始
26年 3月 「ミキモト真珠島」開島



昭和30年頃のミキモト真珠島

26年 4月 志摩観光ホテル開業
28年 10月 第59回神宮式年遷宮
30年 5月 「鳥羽水族館」開館
34年 9月 伊勢湾台風により大被害
39年 10月 伊勢志摩スカイライン開通
40年 5月 西海国立公園と姉妹提携
8月 伊勢道路伊勢―磯部間完成
45年 3月 近鉄・賢島まで直通特急
46年 12月 「海の博物館」開館
48年 4月 パールロード鳥羽今浦―磯部の矢間開通
10月 第60回神宮式年遷宮
51年 4月 パールロード磯部―鵜方間開通
52年 2月 公園計画の見直し、旧南島町が国立公園に編入される
58年 10月 鳥羽水族館にラッコ入館（ラッコブーム起こる）
59年 9月 サニーロード(伊勢―南勢間)開通
63年 7月 「三重サンベルトゾーン構想」リゾート法の第1号承認を受ける

平成

2年 7月 新「鳥羽水族館」第1期オープン
海の博物館新築移転
「おかげ横丁」オープン
10月 第61回神宮式年遷宮
6年 4月 「志摩スペイン村」オープン
7月 「まつり博・三重」開催
8年 11月 国立公園指定50周年
11年 4月 「横山ビジターセンター」オープン



開館当時の横山ビジターセンター

28年 5月 G7「伊勢志摩サミット」開催
11月 国立公園指定70周年
29年 3月 全国エコツーリズム大会
「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定
30年 2月 伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会設立
8月 横山展望台にカフェテラス&デッキが完成予定



伊勢志摩サミット参加のG7とEUの首脳ら

伊勢志摩国立公園夏の便り